

別記第1号様式（第9条第1項関係）

東京ゼロエミ住宅設計確認審査申請書

（第一面）

年 月 日

株式会社 湘南建築センター 様

（建築主の氏名）

東京ゼロエミ住宅の認証に関する要綱第9条第1項の規定に基づき、東京ゼロエミ住宅設計確認審査を申請します。

なお、この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

※受付欄	※記事欄
年 月 日	
第 号	

(第二面)

建築主等の概要

【1. 建築主】

【イ. 氏名又は名称のフリガナ】

【ロ. 氏名又は名称】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 住所】

【ホ. 電話番号】

【ヘ. 要綱第9条第2項各号への該当の有無】

該当する

該当しない

【2. 手続代行者】

【イ. 氏名又は名称のフリガナ】

【ロ. 氏名又は名称】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 住所】

【ホ. 電話番号】

【3. 設計者】

【イ. 氏名又は名称のフリガナ】

【ロ. 氏名又は名称】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 住所】

【ホ. 電話番号】

【4. 備考】

(第三面)

建築物及びその敷地に関する事項

【1. 住宅の名称】

【2. 地名地番】

【3. 住居表示】

【4. 建て方】

一戸建ての住宅

【単位住戸及び共用部分（人の居住の用に供するものに限る。）の床面積の合計】

m²

集合住宅等

【単位住戸及び共用部分（人の居住の用に供するものに限る。）の床面積の合計】

m²

【集合住宅等の場合における単位住戸の数】 戸

【5. 建築物の階数・構造】

【階数】 (地上) 階

(地下) 階

【構造】 造 一部 造

【6. 工事着工予定年月日】

【7. 工事完了予定年月日】

【8. 再生可能エネルギー利用設備設置の有無】

太陽光発電システム (出力 kW)

太陽熱利用システム

地中熱利用システム

設置しない

(ア) 南面等屋根（水平屋根又は方位が南を含む東から西までに面する屋根をいう。以下同じ。）を有しない建築物

(イ) 傾斜又は方位が異なる南面等屋根（水平屋根又は方位が南を含む東から西までに面する屋根をいう。以下同じ。）が一である場合であって当該南面等屋根の水平投影面積が20m²未満の建築物

(ウ) 傾斜又は方位が異なる南面等屋根が二以上ある場合であって、次の (i) 及び (ii) のいずれにも該当する建築物

(i) 南面等屋根のうち、傾斜及び方位別に最も大きい水平投影面積が20m²未満のもの

(ii) 南面等屋根のうち、傾斜及び方位別に2番目に大きい水平投影面積が10m²未満のもの

(エ) 法令により再生可能エネルギー利用設備を設置できない建築物

【9. 東京ゼロエミ住宅におけるオール電化への該当の有無】

該当あり

該当なし

【10. その他必要な事項】

【11. 備考】

(第四面)

単位住戸に関する事項

【1. 単位住戸の番号】 (集合住宅等の場合に記載)

【2. 単位住戸の存する階】 (集合住宅等の場合に記載)
階

【3. 単位住戸の床面積】 (集合住宅等の場合に記載)
 m^2

【4. 適合状況を確認する水準】

- 水準A
 - 水準B
 - 水準C
-

【5. 適合状況を確認する際に選択した基準】

(ア) 断熱性能

- 仕様規定の基準
- 性能規定の基準

外皮平均熱貫流率 () $W / (m^2 \cdot k)$

(イ) 設備の省エネルギー性能

- 仕様規定の基準
- 性能規定の基準

BEI_{ZE} ()

【6. 単位住戸当たりの太陽光発電システムの出力】 (集合住宅等の場合に記載)
kW

【7. 東京ゼロエミ住宅におけるオール電化への該当の有無】 (集合住宅等の場合に記載)

- 該当あり
 - 該当なし
-

【8. 備考】

(注意)

1 各面共通

- (1) この用紙の大きさは、日本産業規格A4としてください。
- (2) 数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。

2 第一面関係

- (1) ※印のある欄は記入しないでください。
- (2) 建築主が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。

3 第二面関係

- (1) 建築主からの委任を受けた手続代行者がいる場合においては、2欄に記入してください。
- (2) 建築主が2以上のときは、1欄には代表となる建築主のみについて記入し、別紙に他の建築主についてそれぞれ必要な事項を記入して添えてください。
- (3) 1欄【へ、要綱第9条第2項各号への該当の有無】は、該当するチェックボックスに「✓」マークを入れてください。

4 第三面関係

- (1) 住居表示が定まっているときは、3欄に記入してください。
- (2) 4欄は、該当するチェックボックスに「✓」マークを入れて、それぞれの建て方における単位住戸及び共用部分（人の居住の用に供するものに限る。）の床面積の合計等を記入してください。
- (3) 6欄は、東京ゼロエミ住宅の認証事項に係る工事の着手予定日を記入してください。
- (4) 8欄は、太陽光発電設備を設置しない場合、東京ゼロエミ住宅指針 第3 2(2)イ(ア)から(エ)までのうち、該当する事項のチェックボックスに「✓」マークを入れてください。(エ)に該当する場合、法令の名称を記入してください。
- (5) 9欄は、集合住宅等の場合、当該建築物における全て又は一部の単位住戸が該当する場合は「該当あり」のチェックボックスに「✓」マークを入れてください。
- (6) ここに書き表せない事項で、設計確認に当たり特に注意を要する事項は、11欄又は別紙に記載して添えてください。

5 第四面関係

- (1) 第四面は単位住戸ごとに作成してください。
- (2) 1欄は、単位住戸ごとに通し番号を付し、その番号を記入してください。
- (3) 4欄及び7欄は、該当するチェックボックスに「✓」マークを入れてください。
- (4) 5欄は、断熱性能及び設備の省エネルギー性能のそれぞれについて該当するチェックボックスに「✓」マークを入れ、性能規定の基準に該当する場合は、外皮熱貫流率及びBE_{IE}の数値をそれぞれ記入してください。
- (5) 6欄は、太陽光発電システムの発電電力を単位住戸において受電する場合に、単位住戸当たりの太陽光発電システムの出力を記入してください。単位住戸で受電しない場合は、空欄としてください。
- (4) ここに書き表せない事項で、設計確認審査に当たり特に注意を要する事項は、8欄又は別紙に記載して添えてください。
- (7) 複数の住戸に関する情報を集約して記載すること等により記載すべき事項の全てが明示された別の書面をもって代えることができます。

(第二面別紙)

建築主等の概要

【建築主 2】

【イ. 氏名又は名称のフリガナ】

【ロ. 氏名又は名称】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 住所】

【ホ. 電話番号】

【ヘ. 要綱第 9 条第 2 項各号への該当の有無】 該当する 該当しない

【建築主 3】

【イ. 氏名又は名称のフリガナ】

【ロ. 氏名又は名称】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 住所】

【ホ. 電話番号】

【ヘ. 要綱第 9 条第 2 項各号への該当の有無】 該当する 該当しない

【建築主 4】

【イ. 氏名又は名称のフリガナ】

【ロ. 氏名又は名称】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 住所】

【ホ. 電話番号】

【ヘ. 要綱第 9 条第 2 項各号への該当の有無】 該当する 該当しない

委任状

年 月 日

株式会社 湘南建築センター 殿

委任者

住所：

氏名：

私は、 を代理人と定め、下記の
チェックボックスをつけた業務に関する手続きに関する一切の権限を委任します。

1. 申請の区分

- 東京ゼロエミ住宅の認証に係る設計確認審査
- 東京ゼロエミ住宅の認証に係る設計変更確認審査
- 東京ゼロエミ住宅の認証に係る工事完了検査

2. 物件名

3. 建築場所、設置場所又は築造場所

別記第4号様式（第13条第1項関係）

東京ゼロエミ住宅設計変更確認審査申請書

（第一面）

年 月 日

株式会社 湘南建築センター 様

（建築主）

下記の建築等の計画について、東京ゼロエミ住宅の認証に関する要綱第13条第1項の規定に基づき、東京ゼロエミ住宅設計変更確認審査を下記のとおり申請します。
なお、この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

記

【計画を変更する住宅の直前の東京ゼロエミ住宅設計（変更）確認審査】

- 1 東京ゼロエミ住宅設計（変更）確認書交付番号 第 号
- 2 東京ゼロエミ住宅設計（変更）確認書交付年月日 年 月 日
- 3 変更内容：

※受付欄	※記事欄
年 月 日	
第 号	

(第二面)

建築主等の概要

【1. 建築主】

【イ. 氏名又は名称のフリガナ】

【ロ. 氏名又は名称】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 住所】

【ホ. 電話番号】

【ヘ. 要綱第9条第2項各号への該当の有無】 該当する 該当しない

【2. 手続代行者】

【イ. 氏名又は名称のフリガナ】

【ロ. 氏名又は名称】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 住所】

【ホ. 電話番号】

【3. 設計者】

【イ. 氏名又は名称のフリガナ】

【ロ. 氏名又は名称】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 住所】

【ホ. 電話番号】

【4. 備考】

(第三面)

建築物及びその敷地に関する事項

【1. 住宅の名称】

【2. 地名地番】

【3. 住居表示】

【4. 建て方】

一戸建ての住宅

【単位住戸及び共用部分（人の居住の用に供するものに限る。）の床面積の合計】

m²

集合住宅等

【単位住戸及び共用部分（人の居住の用に供するものに限る。）の床面積の合計】

m²

【集合住宅等の場合における単位住戸の数】 戸

【5. 建築物の階数・構造】

【階数】 (地上) 階

(地下) 階

【構造】 造 一部 造

【6. 工事着工予定年月日】

【7. 工事完了予定年月日】

【8. 再生可能エネルギー設備の設置の有無】

太陽光発電システム (出力 kW)

太陽熱利用システム

地中熱利用システム

設置しない

(ア) 南面等屋根（水平屋根又は方位が南を含む東から西までに面する屋根をいう。以下同じ。）を有しない建築物

(イ) 傾斜又は方位が異なる南面等屋根（水平屋根又は方位が南を含む東から西までに面する屋根をいう。以下同じ。）が一である場合であって当該南面等屋根の水平投影面積が20m²未満の建築物

(ウ) 傾斜又は方位が異なる南面等屋根が二以上ある場合であって、次の (i) 及び (ii) のいずれにも該当する建築物

(i) 南面等屋根のうち、傾斜及び方位別に最も大きい水平投影面積が20m²未満のもの

(ii) 南面等屋根のうち、傾斜及び方位別に2番目に大きい水平投影面積が10m²未満のもの

(エ) 法令により再生可能エネルギー利用設備を設置できない建築物

【9. 東京ゼロエミ住宅におけるオール電化への該当の有無】

- 該当あり
 該当なし

【10. その他必要な事項】

【11. 備考】

(第四面)

単位住戸に関する事項

【1. 単位住戸の番号】 (集合住宅等の場合に記載)

【2. 単位住戸の存する階】 (集合住宅等の場合に記載)
階

【3. 単位住戸の床面積】 (集合住宅等の場合に記載)
 m^2

【4. 適合状況を確認する水準】

- 水準A
 - 水準B
 - 水準C
-

【5. 適合状況を確認する際に選択した基準】

(ア) 断熱性能

- 仕様規定の基準
- 性能規定の基準

外皮平均熱貫流率 () $\text{W}/(\text{m}^2 \cdot \text{k})$

(イ) 設備の省エネルギー性能

- 仕様規定の基準
- 性能規定の基準

BEI_{ZE} ()

【6. 単位住戸当たりの太陽光発電システムの出力】 (集合住宅等の場合に記載)
 kW

【7. 東京ゼロエミ住宅におけるオール電化への該当の有無】 (集合住宅等の場合に記載)

- 該当あり
 - 該当なし
-

【8. 備考】

(注意)

1 各面共通

- (1) この用紙の大きさは、日本産業規格A4としてください。
- (2) 数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。

2 第一面関係

- (1) ※印のある欄は記入しないでください。
- (2) 建築主が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。

3 第二面関係

- (1) 建築主からの委任を受けた手続代行者がいる場合においては、2欄に記入してください。
- (2) 建築主が2以上のときは、1欄には代表となる建築主のみについて記入し、別紙に他の建築主についてそれぞれ必要な事項を記入して添えてください。
- (3) 1欄【へ、要綱第9条第2項各号への該当の有無】は、該当するチェックボックスに「✓」マークを入れてください。

4 第三面関係

- (1) 住居表示が定まっているときは、3欄に記入してください。
- (2) 4欄は、該当するチェックボックスに「✓」マークを入れて、それぞれの建て方における単位住戸及び共用部分（人の居住の用に供するものに限る。）の床面積の合計等を記入してください。
- (3) 6欄は、東京ゼロエミ住宅の認証事項に係る工事の着手予定日を記入してください。
- (4) 8欄は、太陽光発電設備を設置しない場合、東京ゼロエミ住宅指針 第3 2(2)イ(ア)から(エ)までのうち、該当する事項のチェックボックスに「✓」マークを入れてください。(エ)に該当する場合、法令の名称を記入してください。
- (5) 9欄は、集合住宅等の場合、当該建築物における全て又は一部の単位住戸が該当する場合は「該当あり」のチェックボックスに「✓」マークを入れてください。
- (6) ここに書き表せない事項で、設計確認に当たり特に注意を要する事項は、11欄又は別紙に記載して添えてください。

5 第四面関係

- (1) 第四面は単位住戸ごとに作成してください。
- (2) 1欄は、単位住戸ごとに通し番号を付し、その番号を記入してください。
- (3) 4欄及び7欄は、該当するチェックボックスに「✓」マークを入れてください。
- (4) 5欄は、断熱性能及び設備の省エネルギー性能のそれぞれについて該当するチェックボックスに「✓」マークを入れ、性能規定の基準に該当する場合は、外皮熱貫流率及びBEI_{ZE}の数値をそれぞれ記入してください。
- (5) 6欄は、太陽光発電システムの発電電力を単位住戸において受電する場合に、単位住戸当たりの太陽光発電システムの出力を記入してください。単位住戸で受電しない場合は、空欄としてください。

- (4) ここに書き表せない事項で、設計確認審査に当たり特に注意を要する事項は、8欄又は別紙に記載して添えてください。
- (7) 複数の住戸に関する情報を集約して記載すること等により記載すべき事項の全てが明示された別の書面をもって代えることができます。

東京ゼロエミ住宅認証審査取下届

（第一面）

年 月 日

株式会社 湘南建築センター 様

（建築主）

下記の新築計画について、東京ゼロエミ住宅に関する審査又は検査を取り下げますので、東京ゼロエミ住宅の認証に関する要綱第19条の規定に基づき下記のとおり届け出ます。
なお、この届出に記載の事項は、事実と相違ありません。

記

【届け出る新築等計画の審査又は検査】

- 1 申請年月日（ 年 月 日 ）
- 2 住宅の名称（ ）
- 3 住宅の位置（ ）
- 4 東京ゼロエミ住宅設計（変更）確認書交付番号（交付済みの場合に限る。）
第 号
- 5 東京ゼロエミ住宅設計（変更）確認書交付年月日（交付済みの場合に限る。）
年 月 日
- 6 取下げの理由：（ ）

※受付欄	※記事欄
年 月 日	
第 号	

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4としてください。
 - 2 数字は算用数字を用いてください。
 - 3 ※印のある欄は記入しないでください。

(第二面)

性能確認項目		設計内容説明欄		確認欄	
		設計内容	記載図書		
設備の省エネルギー性能	設備機器に係る概要	照明設備	<input type="checkbox"/> LED照明である事 (台所に設置するレンジフード内の手元灯は除く。) <input type="checkbox"/> 1箇所以上に人感センサー付き LED を設置 <input type="checkbox"/> 玄関 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 洗面・脱衣所 <input type="checkbox"/> 廊下及び階段	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/> 機器表 <input type="checkbox"/> 系統図	<input type="checkbox"/>
		暖房設備	<input type="checkbox"/> 主たる居室において以下のいずれかに該当するものを使用し、当該単位住戸において電気ヒーター床暖房、電気ヒーター温水暖房器、電気ヒーター給湯温水暖房器又は電気蓄熱暖房器を使用しない <input type="checkbox"/> 温水暖房用パネルラジエーターであって、以下のいずれかの熱源機を用い、かつ配管に断熱被覆があるもの <input type="checkbox"/> 潜熱回収型の石油熱源機 <input type="checkbox"/> 潜熱回収型のガス熱源機 <input type="checkbox"/> 電気ヒートポンプ熱源機 (フロン冷媒) <input type="checkbox"/> ルームエアコンディショナーのエネルギー消費効率の区分 (い) のものを使用	<input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		冷房設備	<input type="checkbox"/> 主たる居室においてルームエアコンディショナーのエネルギー消費効率の区分 (い) のものを使用		
		給湯設備	<input type="checkbox"/> 石油潜熱回収型給湯機【エコフィール】 モード熱効率 84.9%以上 <input type="checkbox"/> ガス潜熱回収型給湯機【エコジョーズ】 モード熱効率 86.6%以上 <input type="checkbox"/> 電気ヒートポンプ給湯機【エコキュート】 JIS 効率 3.3 以上 (貯湯缶が多缶の場合は 3.0 以上) <input type="checkbox"/> ヒートポンプ・ガス瞬間式併用給湯器 (WEB プログラムで選択可能な機種) <input type="checkbox"/> コージェネレーション設備 (WEB プログラムで選択可能な機種で、停電時自立運転機能付)	<input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		浴槽	<input type="checkbox"/> 給湯設備が追焚機能付き、かつ、高断熱浴槽であること <input type="checkbox"/> 浴槽設置無し		
		配管方式	<input type="checkbox"/> ヘッダー配管方式、かつ分岐後の配管径が13A以下		
		節湯水栓	<input type="checkbox"/> 2バルブ水栓以外の水栓であり、台所及び洗面の水栓は水優先吐水機構、浴室シャワー水栓は手元止水機構及び小流量吐水機構を有していること		
		換気設備	<input type="checkbox"/> 熱交換設備を採用しない場合 ※以下のいずれかに該当すること <input type="checkbox"/> ダクト式第一種換気設備で、ダクト内径が 75mm 以上で、かつ DC モーター (直流) のもの <input type="checkbox"/> ダクト式第二種 又は 第三種換気設備で、ダクト内径が 75mm 以上のもの <input type="checkbox"/> 壁付け式第二種 又は 第三種換気設備のもの <input type="checkbox"/> 熱交換設備を採用する場合 ※以下のいずれにも該当すること <input type="checkbox"/> ダクト式第一種換気設備で、ダクト内径が 75mm 以上、有効換気量率が 0.8 以上で、かつ DC モーターのもの <input type="checkbox"/> 温度交換効率 が 70% 以上のもの	<input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
再生可能エネルギー利用設備	<input type="checkbox"/>	太陽光発電	・構成する太陽光発電モジュールについて <input type="checkbox"/> JETPVm認証の内、モジュール認証を受けている (認証の有効期限内) <input type="checkbox"/> 上記以外で、IEC 61215及びIEC 61730 (2016以降) の認証を受けており、かつ、火災試験 (JIS C 8993 (2020)、JIS C 8992-2 "MST23"、IEC61730-2 (2004) "MST23"、UL790 (2004~2013)、UL1703 (2004~2013) "31 Fire Tests") のいずれかの規格に適合している <input type="checkbox"/> 供給される電力が、住宅用途部分のエネルギー利用のために使用 <input type="checkbox"/> 停電時においても電気供給を継続する機能を有している <input type="checkbox"/> 地絡検知機能を有している <input type="checkbox"/> 太陽光発電システムの出力値が50kW未満であること ①太陽光発電システムの公証最大出力の合計 () kw ②パワーコンディショナーの定格出力の合計 () kw	<input type="checkbox"/> 計算書 <input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	太陽熱利用システム	<input type="checkbox"/> 太陽熱を集熱器に集めて給湯、空調 (輻射式の暖房を含む。以降同じ。) 又は給湯及び空調に利用するシステムで、液体集熱式 (強制循環式に限る。) 又は空気集熱式によるものであること <input type="checkbox"/> 集熱器はJIS A 4112に規定する基準相当を持つものとして都が認めるものである <input type="checkbox"/> 供給される熱が、住宅用途部分のエネルギー利用のために使用		
	<input type="checkbox"/>	地中熱利用	<input type="checkbox"/> 地中の熱を熱源として給湯、空調又は給湯及び空調に利用するシステムで、クローズドループ型で地中に埋設した地中熱交換器を使用するものであること。		

	システム	<input type="checkbox"/> 暖房時エネルギー消費効率（定格 COP 値）が 3.7 以上であること <input type="checkbox"/> 供給される熱が、住宅用途に供する部分のエネルギー利用のために使用されている	
--	------	--	--

東京ゼロエミ住宅設計内容説明書

(性能規定)

(第一面)

住宅の名称		設計内容説明欄			確認欄
性能確認項目	設計内容			記載図書	確認欄
建物の概要	用途	<input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅等の住戸 (住戸番号 <input type="text"/>)			
	基準	<input type="checkbox"/> 性能基準等 <input type="checkbox"/> 誘導仕様基準			
躯体等の断熱性能	外皮平均熱貫流率	<input type="checkbox"/> 外皮平均熱貫流率の基準に適合 <input type="checkbox"/> 水準C 設計値 (<input type="text"/>) 【W/m ² K】 ≤ 基準値 (0.60) 【W/m ² K】 <input type="checkbox"/> 水準B 設計値 (<input type="text"/>) 【W/m ² K】 ≤ 基準値 (0.46) 【W/m ² K】 <input type="checkbox"/> 水準A 設計値 (<input type="text"/>) 【W/m ² K】 ≤ 基準値 (0.35) 【W/m ² K】		<input type="checkbox"/> 計算書 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		設備機器に係る概要	<input type="checkbox"/> LED照明である事 (台所に設置するレンジフード内の手元灯は除く。) <input type="checkbox"/> 1箇所以上に人感センサー付き LED を設置 <input type="checkbox"/> 玄関 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 洗面・脱衣所 <input type="checkbox"/> 廊下及び階段 <input type="checkbox"/> 当該単位住戸において電気ヒーター床暖房、電気ヒーター温水暖房器、電気ヒーター給湯温水暖房器又は電気蓄熱暖房器を使用しない <input type="checkbox"/> 主たる居室について、温水暖房用パネルラジエーターで暖房する場合、次のいずれかの熱源機を用い、かつ配管に断熱被覆をすること <input type="checkbox"/> 潜熱回収型の石油熱源機 <input type="checkbox"/> 潜熱回収型のガス熱源機 <input type="checkbox"/> 電気ヒートポンプ熱源機 (フロン冷媒) <input type="checkbox"/> 主たる居室について、ルームエアコンディショナーで暖房する場合、エネルギー消費効率の区分 (い) のものを使用 <input type="checkbox"/> 単位住戸全体を暖房する場合は、ダクト式セントラル空調機を使用 (単位住戸に熱交換換気設備を採用ヒートポンプを熱源とするものに限る)	<input type="checkbox"/> 計算書 <input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/> 平面図 <input type="checkbox"/> 機器表 <input type="checkbox"/> 系統図 <input type="checkbox"/> 仕上表 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
設備の省エネルギー性能	冷房設備	<input type="checkbox"/> 居室のみを冷房する場合は、主たる居室においてルームエアコンディショナーのエネルギー消費効率の区分 (い) のものを使用 <input type="checkbox"/> 単位住戸全体を冷房する場合は、ダクト式セントラル空調機を使用 (単位住戸に熱交換換気設備を採用し、ヒートポンプを熱源とするものに限る)			
	計算結果	<input type="checkbox"/> 水準C BE _{1ZE} (<input type="text"/>) ≤ (0.7) <input type="checkbox"/> 水準B BE _{1ZE} (<input type="text"/>) ≤ (0.60※) ※集合住宅等にあっては0.65 <input type="checkbox"/> 水準A BE _{1ZE} (<input type="text"/>) ≤ (0.55※) ※集合住宅等にあっては0.60		<input type="checkbox"/> 計算書 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
再生可能エネルギー利用設備	<input type="checkbox"/> 太陽光発電	・構成する太陽光発電モジュールについて <input type="checkbox"/> JETPVm認証の内、モジュール認証を受けている (認証の有効期限内) <input type="checkbox"/> 上記以外で、IEC 61215及びIEC 61730 (2016以降) の認証を受けており、かつ、火災試験 (JIS C 8993 (2020)、JIS C 8992-2 “MST23”、IEC61730-2 (2004) “MST23”、UL790 (2004~2013)、UL1703 (2004~2013) “31 Fire Tests”) のいずれかの規格に適合している <input type="checkbox"/> 供給される電力が、住宅用途部分のエネルギー利用のために使用 <input type="checkbox"/> 停電時においても電気供給を継続する機能を有している <input type="checkbox"/> 地絡検知機能を有している <input type="checkbox"/> 太陽光発電システムの出力値が50kW未満であること ①太陽光発電システムの公証最大出力の合計 (<input type="text"/>) kw ②パワーコンディショナーの定格出力の合計 (<input type="text"/>) kw		<input type="checkbox"/> 計算書 <input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 太陽熱利用システム	<input type="checkbox"/> 太陽熱を集熱器に集めて給湯、空調 (輻射式の暖房を含む。以降同じ。) 又は給湯及び空調に利用するシステムで、液体集熱式 (強制循環式に限る。) 又は空気集熱式によるものであること <input type="checkbox"/> 集熱器はJIS A 4112に規定する基準相当を持つものとして都が認めるものである <input type="checkbox"/> 供給される熱が、住宅用途部分のエネルギー利用のために使用			
	<input type="checkbox"/> 地中熱利用システム	<input type="checkbox"/> 地中の熱を熱源として給湯、空調又は給湯及び空調に利用するシステムで、クローズドループ型で地中に埋設した地中熱交換器を使用するものであること。 <input type="checkbox"/> 暖房時エネルギー消費効率 (定格 COP 値) が 3.7 以上であること			

東京ゼロエミ住宅設計内容説明書

(性能規定)

(別紙)

性能確認項目	設計内容説明欄		記載図書	確認欄																				
	設計内容																							
躯体の断熱性能 誘導仕様基準	外皮の以下のいずれかの基準に適合 <input type="checkbox"/> 外皮の熱貫流率の基準に適合 <input type="checkbox"/> RC造（組構造含む） <input type="checkbox"/> 上記以外の構造・構法によるもの <input type="checkbox"/> 断熱材の熱抵抗値の基準に適合 <input type="checkbox"/> RC造（組構造含む） <input type="checkbox"/> 木造（軸組工法） <input type="checkbox"/> 木造（枠組壁工法） <input type="checkbox"/> 鉄骨造（外張断熱工法又は内張断熱工法）	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/> 計算書 <input type="checkbox"/> 矩計図	<input type="checkbox"/> 適																					
	外皮の熱貫流率、断熱材の熱抵抗値に関する基準 ・断熱材の施工方法 ・RC造部分（基礎壁含む） <input type="checkbox"/> 内断熱 <input type="checkbox"/> 外断熱 <input type="checkbox"/> 両面断熱 ・上記以外の部分 <input type="checkbox"/> 充填断熱 <input type="checkbox"/> 内張断熱又は外張断熱 ・以下の（ ）内に熱貫流率または熱抵抗値を入力して下さい。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>設計値</th> <th>基準値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋根又は天井</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>壁</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>床（外気）</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>（その他）</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>基礎壁（外気）</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>（その他）</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> </tbody> </table> ・緩和規定を利用 <input type="checkbox"/> 外気床の合計面積が、床面積の5%以下のためにその他床として扱う			設計値	基準値	屋根又は天井	()	()	壁	()	()	床（外気）	()	()	（その他）	()	()	基礎壁（外気）	()	()	（その他）	()	()	
		設計値		基準値																				
屋根又は天井	()	()																						
壁	()	()																						
床（外気）	()	()																						
（その他）	()	()																						
基礎壁（外気）	()	()																						
（その他）	()	()																						
<input type="checkbox"/> 鉄骨造（充填断熱工法） ・以下から外装材の熱抵抗の数値を選択して下さい。 <input type="checkbox"/> 0.5以上 <input type="checkbox"/> 0.1以上0.5未満 <input type="checkbox"/> 0.1未満 ・以下の（ ）内に熱抵抗値を入力して下さい。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>設計値</th> <th>基準値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柱、梁</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>一般部 貫通有</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td> 貫通無</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>金属部材</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> </tbody> </table>		設計値	基準値	柱、梁	()	()	一般部 貫通有	()	()	貫通無	()	()	金属部材	()	()									
	設計値	基準値																						
柱、梁	()	()																						
一般部 貫通有	()	()																						
貫通無	()	()																						
金属部材	()	()																						
構造熱橋部の基準（RC造等のみ） <input type="checkbox"/> 構造熱橋部の基準に適合（RC造等のみ） <input type="checkbox"/> 内断熱 <input type="checkbox"/> 外断熱 <input type="checkbox"/> 両面断熱 ※両面断熱の場合は、使用する断熱材の熱抵抗値について室内側と室外側でどちらが大きいかを下記から選択して下さい。 <input type="checkbox"/> 室内側≧室外側 → <input type="checkbox"/> 内断熱の基準に適合 <input type="checkbox"/> 室内側<室外側 → <input type="checkbox"/> 外断熱の基準に適合 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>設計値</th> <th>基準値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補強範囲</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>熱抵抗値</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> </tbody> </table>		設計値	基準値	補強範囲	()	()	熱抵抗値	()	()															
	設計値	基準値																						
補強範囲	()	()																						
熱抵抗値	()	()																						
開口部の断熱性能等	※開口部の以下の基準のいずれにも適合すること <input type="checkbox"/> 開口部の熱貫流率の基準に適合 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>設計値</th> <th>基準値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開口部の熱貫流率</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> </tbody> </table> ・緩和規定を利用 <input type="checkbox"/> 窓面積から床面積の2%を除く <input type="checkbox"/> 開口部の日射遮蔽対策の基準に適合（一戸建ての住宅に限る） ・下記のいずれかの基準に該当するもの <input type="checkbox"/> 開口部の日射熱取得率 0.59以下 <input type="checkbox"/> ガラスの日射熱取得率 0.73以下 <input type="checkbox"/> 付属部材を設けるもの <input type="checkbox"/> ひさし、軒等を設けるもの		設計値	基準値	開口部の熱貫流率	()	()	<input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/> 立面図	<input type="checkbox"/> 適															
	設計値	基準値																						
開口部の熱貫流率	()	()																						

・緩和規定を利用

窓面積（天窗を除く）から床面積の 4%を除く

東京ゼロエミ住宅認証再交付申請書

年 月 日

株式会社 湘南建築センター 様

(建築主の氏名)

下記住宅の東京ゼロエミ住宅認証書等の再交付を申請します。
なお、この届出に記載の事項は、事実と相違ありません。

記

【認証書等の交付年月日】 年 月 日
第 号

【認証書等の交付番号】

【住宅又は建築物の名称】

【申請理由】

※受付欄	※記事欄
年 月 日	
第 号	

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4としてください。
 - 数字は算用数字を用いてください。
 - ※印のある欄は記入しないでください。